

## 【原子力ワンプoint】 広く利用されている放射線

### (128) 社会的受容性(その4)

「多核種除去設備等処理水の取扱いに関する小委員会<sup>1</sup>（第7回）」において、復興庁増田参事官より「風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略」、また東京電力松本福島第一廃炉推進カンパニー廃炉推進室長より「風評被害に対する行動計画」について紹介がありました。今回は、「風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略」に的を絞って内容を探ってみましょう。

**ゆりちゃん：**「風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略」って、誰が決めたのですか？

**タクさん：**多核種除去設備等処理水の取扱いに関する小委員会で、復興庁増田参事官が、「原子力災害による風評被害を含む影響への対策タスクフォースが2017年12月12日、『風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略』を決定した」と述べました。「これまで、被災者に対する福島を中心とするリスクコミュニケーションは、かなり頑張ってきたという自負はあるが、それに加えて、『広く国民一般に対して情報発信すること、これがまだまだ足りなかった、ここにも重点を置くべきではないか』という認識に至った。そのため、より具体的な情報発信の方法なども含めて検討し、政府全体が1つの戦略の下に連携して統一的に取組みを実施しようということで決定した」と説明しました。さらに、「強化戦略の中身は、まずⅠ『知ってもらう』、Ⅱ『食べてもらう』、Ⅲ『来てもらう』という3つの視点を設定、それぞれで、『伝えるべき対象』は誰なのか、『伝えるべき内容』は何が大事なのか、『発信の工夫』としてどういうことが考えられるのか、といった点について、なるべくシンプルかつ大事なものの順に並べて示していく。各府省庁では、これらを基に情報発信していく考えである」と報告しました。

**ゆりちゃん：**「風評被害を含む影響への対策タスクフォース」って、どのような位置付けのタスクフォースなのか？

**タクさん：**表1を見てください。本タスクフォースは、復興大臣以下、関係府省庁局長クラスから構成されています。「風評被害対策事業の進捗管理、及び課題を洗い出し、今後の方向性を定め、各事業の推進を図る」役割を担った特別チームです。

**ゆりちゃん：**このタスクフォースが決めた強化戦略（行動計画）の内容を、わかりやすく教えて下さい。

**タクさん：**表2を見てください。強化戦略のための視点が3つ書かれていますね。今回は、特に、Ⅰ「知ってもらう」に的を絞って内容を整理してみましょう。増田参事官の説明から引用します。「これにつきましては、まず、広く国民一般が伝えるべき対象としてあるわけですが、その中で特に児童生徒あるいは先生方、教育関係者を1番に挙げて、2番目でお父さんお母さん、特に妊産婦を含めてこちらが大事ではないかという形で順位付けをしています。」そして、「伝えるべき内容ですが、1つ目は『放射線の基本的事項及び健康影響』、2つ目は『食品及び飲料水の安全性』、そして3つ目が『復興が進展している被災地の姿』、こういったものを発信することが大事と明示しています」と説明されました。

**ゆりちゃん：**伝えるべき3つの内容について、もう少し具体的に教えて下さい。

**タクさん：**増田参事官の説明から引用します。「(放射線の基本的事項及び健康影響で) 重要なものとして、『例えば人の身の回りには日常的に放射線が存在し、日常生活において放射線被ばくをゼロにすることはできない』であるとか、『うつらない』であるとか、『子供への遺伝性影響がでることはない』であるとか、『放射線による健康影

<sup>1</sup>多核種除去設備等処理水の取扱いについて、風評被害など社会的な観点等も含めて総合的な検討を行う為に、国が2016年9月に立ち上げた委員会。

響は、放射線の“有無”ではなく“量”が問題となる』といった内容が、8項目にまとめられています。一方、食品及び飲料水の安全性という点では、『世界で最も厳しい水準の放射性物質に関する基準の設定や検査の徹底により、安全が確保されている』といった内容が、3項目で書かれています<sup>ii</sup>。加えて、『福島が（確実に）復興していること』が、伝えるべき3つの内容です』と説明されました。

ゆりちゃん：タスクフォースは、広く国民一般に対して情報発信するためにどのような工夫をしているのですか？

タクさん：再び増田参事官の説明から引用します。「発信の工夫、これはいくつか例で挙げておりますが、『受信者目線で印象に残るような表現の工夫をする』、あるいは単なる資料配布にとどまらないで『いろいろなメディアをミックスして発信』していく。あるいは放射線の健康影響は『量が大事だ』ということですので、『放射線量を視覚的、感覚的にスケール感がわかりやすい形で発信』していったほうがいいのではないかなどが盛り込まれております」と解説されました。今回は東京電力が考えている「風評被害に対する行動計画」を調べてみましょう。

(原産協会・人材育成部)

## 表1. 「原子力災害による風評被害を含む影響への対策タスクフォース」 構成員

復興大臣  
復興副大臣  
復興庁 事務次官、統括官、審議官、統括官付参事官  
内閣府大臣官房政府広報室 室長  
内閣府食品安全委員会事務局 事務局長  
内閣府原子力被災者生活支援チーム事務局長補佐  
消費者庁 次長  
外務省 経済局長  
文部科学省 大臣官房総括審議官  
厚生労働省 生活衛生・食品安全審議官  
農林水産省 消費・安全局長、食料安全局長  
経済産業省 地域経済審議官  
国土交通省  
環境省  
原子力規制庁 核物質・放射線総括審議官  
防衛省 防衛装備庁プロジェクト管理部長

[[http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/osensuitaisaku/committee/takakusyu/pdf/007\\_02\\_00.pdf](http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/osensuitaisaku/committee/takakusyu/pdf/007_02_00.pdf)]

<sup>ii</sup> 放射線の基本的事項及び健康影響で重要なものとして決められた8項目、および3項目は「多核種除去設備等処理水の取り扱いに関する小委員会（第7回）配布資料2-3『風評払拭リスクコミュニケーション強化戦略（本文）—[http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/osensuitaisaku/committee/takakusyu/pdf/007\\_04\\_00.pdf](http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/osensuitaisaku/committee/takakusyu/pdf/007_04_00.pdf)（3～6頁）』』に記載されている。

表2. 風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略のポイント

- 今なお残る科学的根拠に基づかない風評の払拭やいわれのない偏見・差別の解消に向け、「風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略」に基づき、関係府省庁が連携して広く国民に対して情報発信を実施。

風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略(平成29年12月12日策定)

I「知ってもらおう」、II「食べてもらおう」、III「来てもらおう」の3つの視点から、「伝えるべき対象」、「伝えるべき内容」等について、シンプルかつ重要な事項順に明示。

⇒ 今後、本戦略の具体化に向け、関係府省庁において工夫を凝らした情報発信等を実施。  
また、関係府省庁の取組を継続的にフォローアップする体制を整備し、点検を実施。

	I「知ってもらおう」	II「食べてもらおう」	III「来てもらおう」
対象	①児童生徒及び教育関係者 ②妊産婦並びに乳幼児及び児童生徒の保護者 ③広く国民一般	①小売・流通事業者 ②消費者 ③在京大使館、外国人及び外国プレス ④在留外国人及び海外からの観光客	①教師、PTA関係者、旅行業者 ②海外からの観光客、外国プレス及び在留外国人 ③県外からの観光客
内容	①放射線の基本的事項及び健康影響（日常生活で被ばくをゼロにできない、放射線はうつらない等） ②食品及び飲料水の安全性 ③復興が進んでいる被災地の姿 等	①福島県産品の「魅力」や「美味しさ」 ②食品及び飲料水の安全を守る仕組みと放射性物質の基準 ③生産段階での管理体制 等	①福島県の旅行先としての「魅力」 ②福島県における空間線量率や食品等の安全 ③教育旅行への支援策 等
工夫の	受信者目標で印象に残るような表現の工夫や、単なる資料配布に止まらないためのメディアミックスの活用 等	「魅力」や「美味しさ」のみならず、安全性も理解してもらえ工夫、福島県を相対化した情報発信 等	「ホープツーリズム」に関する発信、モニターツアー・被災者の生の声の発信 等

取組に基づく今後の対応（例）

- ・ 様々な媒体を活用した放射線リスクに関する情報発信（復興庁）
- ・ 全国の小中高生を対象とした放射線副読本の改訂・普及（文部科学省）
- ・ 福島県産農林水産物の販路拡大・販売促進等の取組への支援（農林水産省）
- ・ 教育旅行を含めた福島県の国内観光振興への支援（国土交通省）

〔復興庁資料：http://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat1/sub-cat1-4/20180218\_kyougika1\_1-shiryo1.pdf(8頁)〕